

平成20年6月、岩手・宮城内陸地震(マグニチュード7.2)の直後に大規模土石流が発生し、駒の湯温泉は押し潰され、宿泊客、従業員とご家族の7名が亡くなり、改修して間もない温泉旅館と自宅も失ってしまいました。

あれから7年3か月の歳月が流れました。平成20年の秋、土石流に埋もれた源泉とは別の源泉が復活しているのを発見、平成22年に犠牲者を悼む慰霊碑を建立、平成24年には「くりこま高原温泉郷協議会」から足湯をご寄付いただき、栗駒耕英地区の人たちのご協力により設置しました。平成25年に駒の湯周辺の砂防工事が完了、同年11月には山から下りた生活を余儀なくされていた駒の湯のご家族が自宅を再建して山に帰ってきました。

400年の歴史があり、栗駒山の観光拠点としての役割も担っていた駒の湯温泉を復活させたいと願うご主人は、名湯「駒の湯」の復活が待ち遠しいファンの後押しも受けて、この9月開業をめざして日帰り温泉施設「駒の湯温泉 湯小屋」の建設を進めています。小さな湯小屋ですが、駒の湯温泉の復活をめざす一歩を踏み出そうとしています。

土石流で失われた駒の湯温泉のあった場所では、かつての森の再生をめざすとともに、犠牲になった方の鎮魂と地域の復興を祈る「くりこま絆の森 植樹プロジェクト」が、行政、関係団体、地域住民、NPOや民間企業のご協力により平成25年秋から始まっています。昨年11月の植樹活動には約90名が参加し、ブナ、ミズナラ、カエデなど約300本の苗木を植えました。

「駒の湯温泉 湯小屋」の開業にあわせて、駒の湯温泉を応援しようと有志が集まり、「駒の湯温泉復活応援団」を設立します。栗駒山麓の四季折々の自然を楽しみ、湯小屋でゆっくりくつろぎ、みんなでわいわいと語りながら、駒の湯温泉の復活を応援する人たちの集まりです。

これまでの駒の湯温泉ファンのみならず、かつての駒の湯温泉をご存じないみなさま、一人ひとりのお知恵とお力をお寄せいただいて、駒の湯温泉湯小屋を見守るとともに、駒の湯温泉の復活を応援していただきますようお願いいたします。

駒の湯温泉復活応援団 設立呼びかけ人
宮城県栗原市 佐藤光平 気仙沼市 村上修 大阪府大阪市 青木洋介

「駒の湯温泉応援団」の団員を募集しています

■ 応援団の活動内容

- ・湯小屋の受付や店番
- ・湯小屋の整備(ガーデニング・建物の整備、ペンキ塗り、看板の作製・設置など)
- ・湯小屋の周辺整備(草刈り、湯小屋の雪下ろし、湯小屋への道路の除雪、折れた樹木の搬出など)
- ・駒の湯温泉の広報(ネットでの配信、広報紙の作成など)
- ・栗駒山の自然を活かした活動
- ・駒の湯温泉を応援する人たちが交流・活動できる企画の立案・実施など

■ 団費

- ・個人 一口 3,000円
- ・団体 一口 10,000円

■ 団費の受付口座

○ 郵便局からお振り込み

口座記号番号:02270-3-120067 加入者名:駒の湯温泉復活応援団

※郵便局の払込取扱票でお振り込みの場合は、通信欄に団費または寄付金の別をご記入ください。

○ 郵便局以外の金融機関からお振り込み

金融機関:ゆうちょ銀行(コード9900) 店名:二二九(二ニキュウ)

預金種目:当座 口座番号:0120067 口座名義:駒の湯温泉復活応援団

※郵便局以外の金融機関からお振り込みの場合は、下記の連絡先へ

①お名前、②ご住所、③団費または寄付金の別をお知らせください。

■ 入団のお申し込み

- ・入団いただける方は下記までご連絡ください。・駒の湯温泉湯小屋でも入団の受付をしています。

■ ご寄付も受け付けております。

みなさまからいただいたご寄付は駒の湯温泉にお渡します。

【駒の湯温泉応援団についての問い合わせ先】

〒989-5371 宮城県栗原市栗駒沼倉耕英東88 駒の湯温泉応援団

TEL : 0226 - 46 - 2110

Mail : info@komanoyu.fun